



双日グループ木材調達方針  
FoEジャパンの公開セミナー

双日株式会社



本日の内容



1. 双日グループの紹介
2. 木材調達方針の概要
3. 木材調達方針の運用
4. メリット、デメリット、課題、リスク



# 1 双日グループの紹介

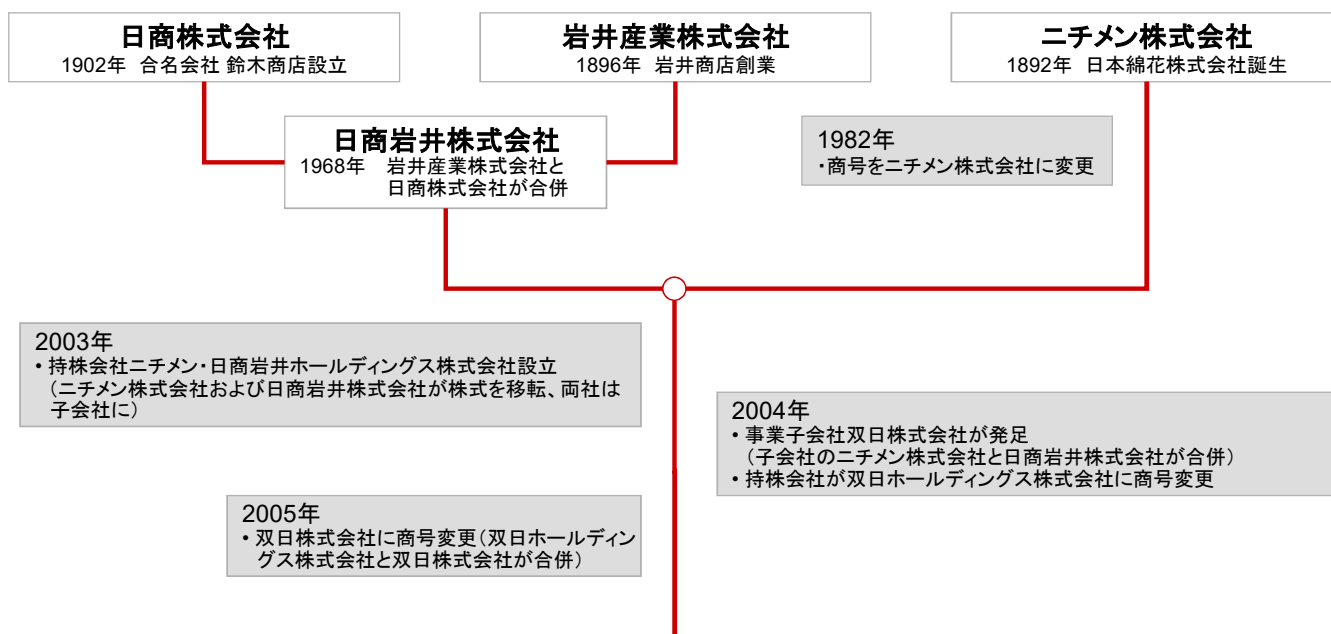


New way, New value

Copyright © Sojitz Corporation 2017

3

## 双日グループの歴史



New way, New value

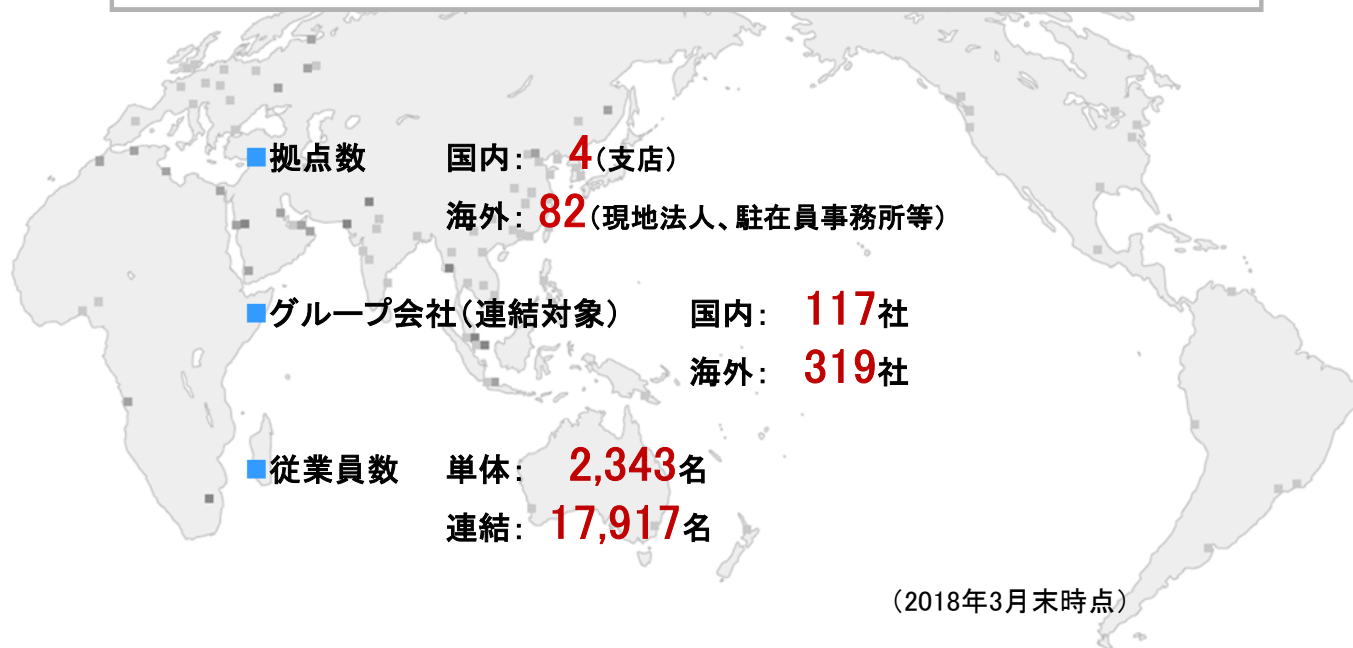
Copyright © Sojitz Corporation 2017

4





全世界をカバーするグローバルネットワークのもと、  
国内外に約400のグループ会社を擁し、  
世界約50カ国で事業を展開する総合商社。



New way, New value

Copyright © Sojitz Corporation 2017

5

## 双日の営業本部



### 自動車本部

経済成長が著しく自動車需要の拡大が見込まれるASEAN やロ  
シアNIS、中南米などにおいて、完成車の輸出・卸売から組立・  
卸売事業、ディーラー事業、部品事業などを展開しています。



### 航空産業・交通プロジェクト本部

従前より強みがある航空産業領域と空港を含めた交  
通インフラ領域を一つの本部とすることで、機能・人  
材面でのシナジーを図り、更なる成長を目指します。



### 機械・医療インフラ本部

産業機械領域における先端技術や成長市場での更な  
る成長を図ると共に、医療関連ビジネスの拡大を目指  
します。



### エネルギー・社会インフラ本部

エネルギー事業領域のポートフォリオの変換に伴い、エ  
ネルギーの供給から発電・需要家までの一貫したサー  
ビス提供を一つの事業領域として拡大すると共に、社会  
ニーズの多様化に対応すべくデジタル関連を含む社会  
インフラ領域の取り組みを強化します。



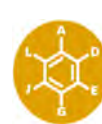
### 金属・資源本部

石炭をはじめとする上流権益保有型のビジネスモ  
デルに加えて、環境・リサイクル等新たな社会ニ  
ーズに対応した主体的な事業を開拓することにより付  
加価値を創造し、ビジネスの拡大を目指します。



### 化学本部

メタノールを中心とする液体ケミカルや、合成樹脂など  
の石油化学製品、工業塩・レアアースといった無機化  
学・鉱産系商品のトレーディング・事業投資を展開して  
います。



### 食料・アグリビジネス本部

アグリビジネス事業、水産事業や食料事業、飼料事  
業など、世界中で食の安全・安心を支える事業を推  
進しています。



### リテール・生活産業本部

食品流通事業、商業施設運営事業、ブランド事業、消  
費財流通事業、繊維事業、林産資源事業などの多様  
多様な事業に国内外で取り組んでいます。



### 産業基盤・都市開発本部

海外工業団地開発・運営事業、社会・生活・都市イン  
フラ関連事業、マンション(分譲・賃貸)開発事業、J-  
REIT 運用事業、不動産総合管理事業、総合生活サ  
ポート事業などの多様な事業に国内外で取り組  
んでいます。

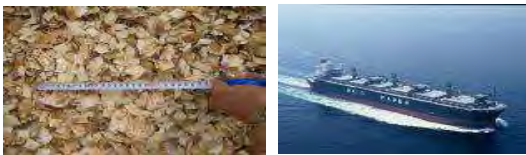
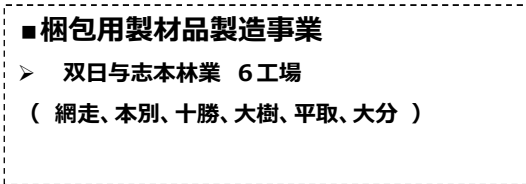
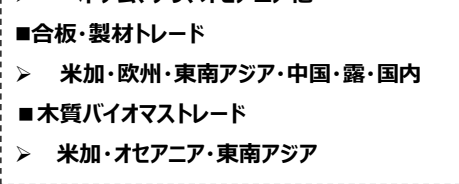
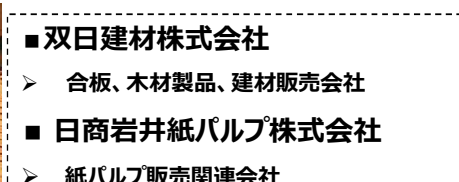


New way, New value

Copyright © Sojitz Corporation 2017

6



| 資源事業                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                    | 製造事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | トレード |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 植林                                                                                                                                                                                     | 製材・チップ・バイオマス                                                                                                                                                                                       | 原木・製材・バイオマス                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |      |
|  <ul style="list-style-type: none"> <li>■ パルプ材植林</li> <li>➢ QPC (ベトナム)</li> <li>➢ GPFL (豪州)</li> </ul> |  <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 製紙用木材チップ製造事業</li> <li>➢ VIJACHIP (ベトナム)</li> </ul>                     |  <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 原木トレード</li> <li>➢ 米加・露・NZ・PNG 他</li> <li>■ チップトレード</li> <li>➢ ベトナム、チリ、オセアニア他</li> <li>■ 合板・製材トレード</li> <li>➢ 米加・欧州・東南アジア・中国・露・国内</li> <li>■ 木質バイオマストレード</li> <li>➢ 米加・オセアニア・東南アジア</li> </ul> |      |
|                                                                                                        |  <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 梱包用製材品製造事業</li> <li>➢ 双日与志本林業 6工場<br/>( 網走、本別、十勝、大樹、平取、大分 )</li> </ul> |  <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 双日建材株式会社</li> <li>➢ 合板、木材製品、建材販売会社</li> <li>■ 日商岩井紙パルプ株式会社</li> <li>➢ 紙パルプ販売関連会社</li> </ul>                                                                                                  |      |
|                                                                                                       |                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                       |      |

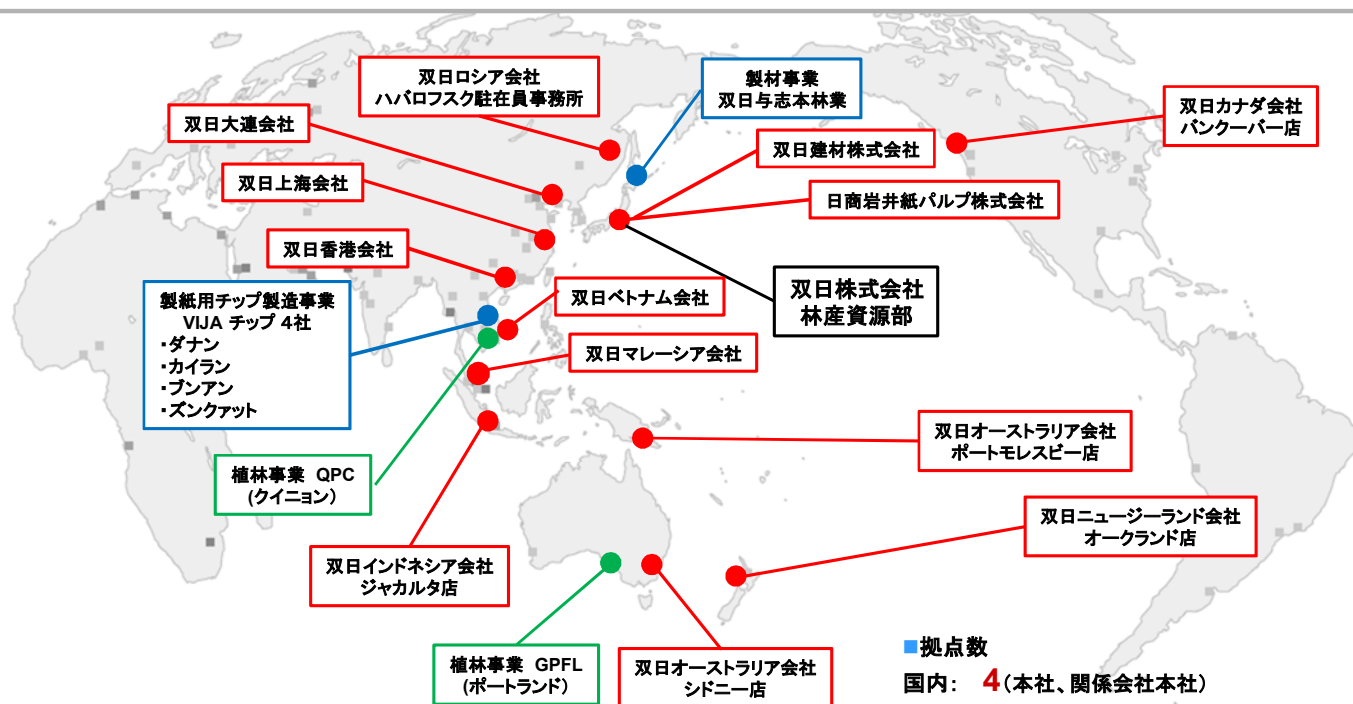
New way, New value

Copyright © Sojitz Corporation 2017

7



環太平洋を中心とした林産グローバルネットワーク  
北米、中国、ロシア、東南アジア、豪州に事業拠点を構え  
幅広い林産物商品ラインで対応



New way, New value

Copyright © Sojitz Corporation 2017

8





|         |                    |
|---------|--------------------|
| 氏 名     | (イシカワ ミツル)<br>石川 満 |
| 生 年 月 日 | 1964年 8月 5日        |

| 年     | 月   | 主な経歴                     |
|-------|-----|--------------------------|
| 1988年 | 3月  | 早稲田大学政治経済学部卒業            |
| 1988年 | 4月  | ニチメン株式会社 入社              |
| 1991年 | 4月  | 米国ニチメン株式会社 シアトル支店        |
| 1992年 | 11月 | 東京木材第二部                  |
| 1997年 | 5月  | 米国ニチメン株式会社 シアトル支店 木材課長   |
| 2003年 | 6月  | 住宅用資材部 住宅原材料課 課長         |
| 2004年 | 4月  | 日商岩井とニチメンが合併し双日株式会社に商号変更 |
| 2012年 | 4月  | 生活産業部門 農林資源本部 林産資源部 副部長  |
| 2015年 | 5月  | 双日カナダ株式会社 カナダ支店長         |
| 2020年 | 2月  | リテール・生活産業本部 林産資源部 部長補佐   |



## 2 木材調達方針の概要





## 企業理念・方針

### ■双日グループ企業理念

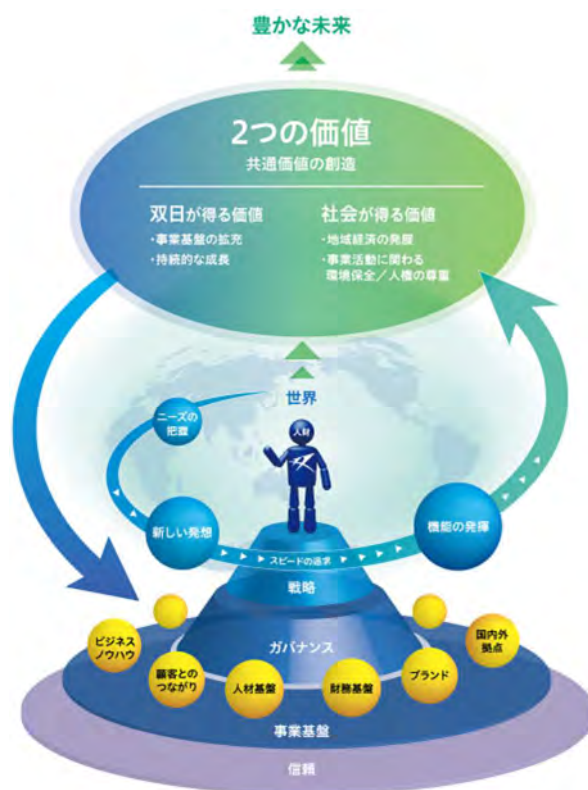
“双日グループは、誠実な心で世界を結び、  
新たな価値と豊かな未来を創造します”

### ■サステナビリティの基本的な考え方

双日グループにとってのサステナビリティとは、  
「双日グループ企業理念」に基づき、  
ステークホルダーと共に、事業を通じた  
「2つの価値（双日が得る価値、社会が得る価値）」  
の最大化を図り、双日グループと社会の持続的な  
成長を目指すことです。

### ■関連する方針類

- ・環境方針
- ・人権方針
- ・サプライチェーンCSR行動指針
- ⇒ ・木材調達方針 など



New way, New value

Copyright © Sojitz Corporation 2017

11



## 非財務情報の重点項目

### 事業にかかわる人権の尊重

事業にかかわる人々の権利を尊重する。  
その対象範囲は、自社従業員のみならず、  
サプライチェーン全体における  
事業の影響力が及ぶ範囲である。  
児童労働、強制労働などが発生した場合は、  
その是正に取り組む。

### 事業を通じた地球環境への貢献

事業にかかわる環境面の持続可能性を追求し、  
環境保全に努めるとともに、  
環境性能の高い競争力ある事業に取り組む。  
気候変動防止、CO<sub>2</sub>排出削減、  
生物多様性対応などを含む、  
事業にかかわる環境負荷の最小化に取り組む。

### 持続可能な資源の開発・供給・利用

持続可能な資源の開発・供給・  
利用を追求する。  
省資源化、適切なエネルギー  
ミックスの提案、資源の  
安定供給に取り組む。  
\* エネルギー資源、鉱物資源、食料資源、  
水資源、林産資源、水産資源などを含む。

### 地域社会とともに発展・成長を実現

地域社会とともに発展する事業の推進。  
事業を通じた地域社会の環境・社会  
影響負荷の削減に取り組む。  
地域社会と継続的にコミュニケー  
ションを図り、事業の持続可能性の  
追求と地域社会の課題解決、  
次世代教育支援などにも取り組む。

### 多様な人材の活躍・ダイバーシティの推進

最大の経営資源は多様な人材である。  
人材が活躍できる環境づくり、  
採用、評価、育成の仕組みや、  
多様な価値観を持つ人材が活躍する  
ダイバーシティの推進に取り組む。

### 有効性と透明性を重視

コンプライアンスの遵守や、  
中長期的な事業の持続可能性追求など、  
当社グループの活動すべてを有機的に連携させ、  
実践していくための企業統治と  
その透明性の追求に取り組む。



New way, New value

Copyright © Sojitz Corporation 2017

12



## 2020年までの中期経営計画で取り組む目標



サステナビリティ重要課題「ガバナンス」については、サステナビリティ委員会主導の下、各目標の進捗を担保する施策の拡充と全体統轄を行う

New way, New value

Copyright © Sojitz Corporation 2017

13

## 行動指針

グローバルに事業を展開する総合商社として様々な業界のサプライチェーンに関わっていることから、双日グループにとってグループ各社およびサプライヤーと共に多岐に渡るサプライチェーン上の環境・社会（人権）リスクの低減に取り組んでいくことは重要な課題の1つです。

## 双日グループ サプライチェーンCSR行動指針

双日グループは、適切な事業活動と、事業に関わるステークホルダーの**人権尊重**、**地球環境保全**を行うべく、**サプライヤーに対して、以下に掲げる項目の理解と実践を求め、取引先とともに、企業活動と社会・環境の共存共栄を目指します。**

1. 従業員の**人権を尊重**し、非人道的な扱いを行わない。
2. 従業員に対する**強制労働・児童労働**を防止し、**適切な労働時間**を守り、**最低賃金**を確保する。
3. **雇用における差別**を行わない。
4. 労使間の円滑な協議を図るため、従業員の**結社の自由**、**団体交渉権**を尊重する。
5. 従業員に対して**安全**、**衛生的**でかつ**健康的な労働環境**の提供に努める。
6. 内外の関係**法令**を遵守し、**公正な取引**および**腐敗防止**を徹底する。
7. 製品やサービスの**品質・安全性**を確保する。
8. 事業活動において、**自然生態系**、**地域環境**および**地球環境の保全**に配慮するとともに、**環境汚染の予防**に努める。
9. 上記に関する**情報の適時・適切な開示**を行う。



## 策定の背景

2005年 グレンイーグルズサミット

2006年 林野庁ガイドライン「合法木材制度」

2008年 アメリカ合衆国 改正レイシー法

2012年 豪州違法伐採禁止法

2013年 欧州連合 EU木材規制

2015年 **双日グループ木材調達方針策定(9月)**

2016年 「クリーンウッド法」制定

2017年 「クリーンウッド法」施行

違法伐採に関する  
関心の高まり



## 方針

双日グループは、企業理念の実践に向け、「双日グループサプライチェーンCSR行動指針」に基づき、取引先と協力しながら以下の方針に沿った木材の調達を行うよう最善を尽くします。

### 1. **合法性**

違法伐採された木材の取扱いは行いません

### 2. **環境への配慮**

保護価値の高い森林を毀損する方法で伐採された木材の取扱いは行いません

### 3. **社会への配慮**

森林伐採が及ぼす人権への負の影響を考慮し、調達に関する負の影響の軽減に努めます





## 対象範囲

木材調達方針の対象商品は、双日及び双日グループ連結子会社が取扱う下記商品となります。

- 原木
- 木材製品（住宅用構造材、製材品、合板、パネル類）
- チップ・パルプなどの製紙用原料
- 紙製品
- ウッドペレット等の木質バイオマス

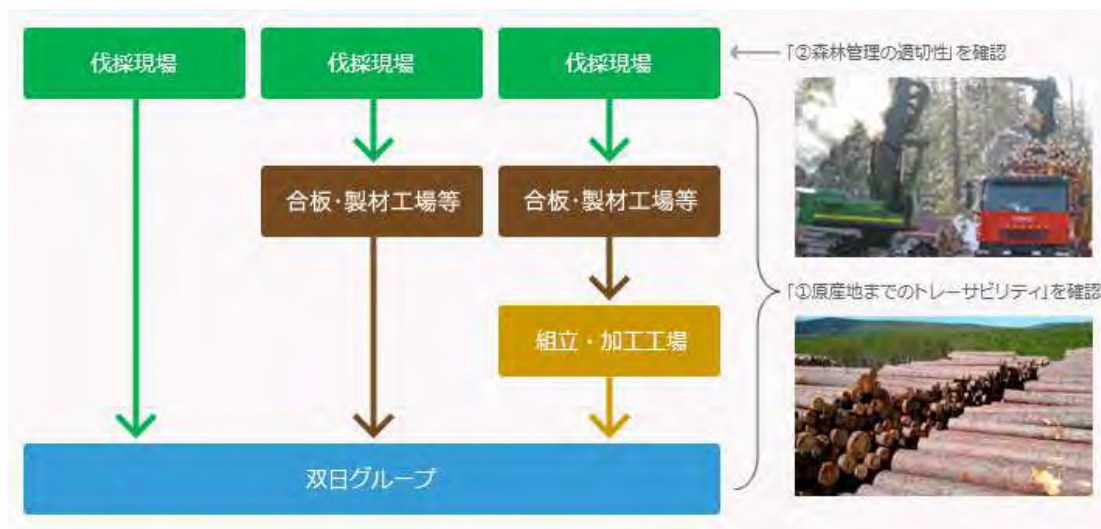


## 3 木材調達方針の運用



## 調査方法

特定した木材に対し、WWFジャパンの監修のもと、「①原産地までのトレーサビリティ」と、環境・社会へ配慮した「②森林管理の適切性」を確認しています。



「①原産地までのトレーサビリティ」と「②森林管理の適切性」を確認するツールとしてWWFジャパンの「林産物チェックリスト」の使用の推奨を受け採用しています。



## 評価基準

「①原産地までのトレーサビリティ」と「②森林管理の適切性」について、下記4レベルに分けて評価しています。

レベル A: 認証材(\*), または認証材相当の高度な管理が確認できている木材

レベル B: トレーサビリティに加え、認証以外で環境・社会に配慮した森林管理の適切性が検証済の木材

レベル C: トレーサビリティが確保されている木材

レベル D: トレーサビリティの確保が不十分な木材

\*FSC®, PEFCなどによる認証木材。FSC®による認証材を最高得点としています。





## 定量目標

双日グループは、木材調達方針に基づき、2020年度までにトレーサビリティが確認できる調達木材の取扱いを100%にします。また、将来的に、トレーサビリティに加え、環境・社会面にも配慮した森林管理の適切性が確認できる調達木材の取扱い100%の達成を目指します。

## 改善方法



「①原産地までのトレーサビリティ」の確保に問題がある場合、WWFジャパンの『林産物調達チェックリスト』に基づいたアンケート調査に加え、現地証憑書類の確認を行っています。また、書類の確認だけではトレーサビリティが確認出来ない場合、現地への訪問も行っています。

環境・社会へ配慮した「②森林管理の適切性」が確認出来ない場合、仕入先に対し『レベルA』に規定されている認証の取得、または認証材相当の高度な管理を、優良事例として紹介し、同様の対応を促します。



『レベルA』の対応が難しい場合、『レベルB』に規定されている『認証以外で環境・社会に配慮した森林管理の適切性』が確認できる状態への改善を依頼します。



## 2019年実施調査結果

新規取引開始前のトレーサビリティ調査の導入等により、引き続き伐採地までのトレーサビリティは100%(レベルDゼロ%)を維持しています。

レベルB以上の比率は67%と前年比微増に留まりましたが、特に伐採地での課題が懸念される木材を中心に、デュー・デリジェンスを通じた確認と評価、更なる改善要請など、実効性を重視した取り組みを進めました。

| レベル | 2016  | 2017 | 2018 | 2019 |                          |
|-----|-------|------|------|------|--------------------------|
| 輸入材 | A 58% | 59%  | 60%  | 51%  | 将来的にレベルB以上の調達木材100%を達成する |
|     | B 7%  | 12%  | 6%   | 15%  |                          |
|     | C 18% | 24%  | 34%  | 33%  |                          |
|     | D 17% | 5%   | 0%   | 0%   |                          |
|     |       |      |      |      | 2020年度までに0%とする           |

## 今後の活動予定

- ① 毎年、調査を行い、調査結果を公表します。
- ② 引き続き、調達木材のトレーサビリティの確保に努め、トレーサビリティが判明しない木材の取扱いは致しません。
- ③ 環境・社会に配慮した木材の調達を増やすべく、現地デュー・デリジェンスを行います。



## 4 メリット、デメリット、 課題、リスク

## メリット、デメリット、課題、リスク



### メリット

双日の木材調達活動が目指すのは、「合法性」「環境への配慮」「社会への配慮」を兼ねた木材商品の取り扱いです。この取り組みを業界の中で率先して行うこと、当社から木材を購入する顧客に安心感を提供することが可能になります。

### デメリット

特に無し

### 課題

国や地域の違いにより双日の木材調達方針の理解度に温度差があります。時間をかけて誠意をもって取引先に当社の木材方針を説明することで理解を得る様努めています。

### リスク

社会(人権)配慮への棄損が認められる木材や、保護価値の高い森林を棄損するような大規模伐採や択伐により産出された木材を取り扱つかう可能性があること。





***New way, New value***

双日グループは、誠実な心で世界を結び、  
新たな価値と豊かな未来を創造します。

ご清聴ありがとうございました。